

動物実験に関する現況調査票

北海道公立大学法人札幌医科大学

2024 年 4 月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名 学長・理事長	
事務担当者	職名 研究支援課係長	
	職名 講師	
動物実験委員会	職名	カテゴリー*
委員長	教授	①②
委員	教授	①
委員	教授	①
委員	准教授	③
委員	准教授	①
委員	准教授	①
委員	講師	①
委員	准教授	①
委員	准教授	①
委員	教授	①
委員	講師	①②

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会のカテゴリー*には文部科学省基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③ その他の学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野
- 畜産・獣医学分野
- 生物科学分野
- 理工学分野
- その他 ()

2. 年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
	使用数	飼用数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数
ラット	5769	1266	5437	1031	4044	762	4358	729	1412	292
マウス	8861	4219	9312	3760	6522	3482	11317	3809	8305	4566
ヌードマウス	100	21	97	30	132	15	57	45	98	34
スキッドマウス	291	184	455	197	329	170	595	167	140	134
ヌードラット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モルモット	8	0	4	2	11	0	7	1	7	1
ハムスター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2024年 3月 31日 現在)

実施の規模を把握するための資料ですので、使用数、飼養数ともに概数で構いません。

飼養数は、特定の日(年 月 日 現在)で記入ください。

集計困難であれば、未集計として下さい。

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	60件	152件	101件	108件	108件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	319人	290人	292人	321人	267人

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数：	4 箇所	施設の総延べ床面積**：
		<input type="checkbox"/> 300 m ² 未満 <input checked="" type="checkbox"/> 300 m ² 以上

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
動物実験施設 部	施設部長・教授	副部長・講師 (獣医師)	マウス (SPF)	5,000
			(一般区域)	1,000
			ラット (SPF)	600
			(一般区域)	1,400
			ウサギ	6
			モルモット	60
教育研究機器 センター RI 部門	教授	同教授 (医師)	マウス ラット	合計 20
指定実験室 (基礎医学研 究棟 P3 実験 室)	教授	技官 (博士(医学))	マウス ラット	合計 16
法医学講座	教授	講師 (博士(薬学))	マウス ラット	合計 100

数に応じて、表の行を増やしてください。

施設の所在地

所在地	施設の名称
北海道札幌市中央区南 1 条西 17 丁目	札幌医科大学医学部

数に応じて、表の行を増やしてください。

飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者および実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すものではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含まれません。

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) :

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/medicine/qr68fj00000012uh.html>

